



異文化トレーニング実践報告



企画・トレーナー：大久保正美（立教大学 異文化コミュニケーション研究科）

日時：2009年7月29日（水）・31日（金）13：00～17：30

場所：立教大学

参加者：16名（海外派遣事業参加者7名、留学予定者5名、留学経験者2名、その他2名）

内容

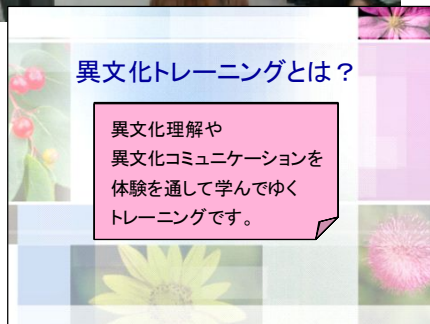
『異文化トレーニングとは？』



異文化トレーニングを始める前に、トレーナーの自己紹介や異文化トレーニングの概要・ルール説明を行いました。



このトレーニングでは、「まちがった意見を言ったら、恥ずかしい」と思わずにどんどん発言して下さい。自分なりに考え、意見を発表することが大切です。



『ジェスチャーで伝えよう！～非言語コミュニケーション～』

このトレーニングでは、ジェスチャーを使って自分の趣味などを伝えるアクティビティーを通して、言葉なしで伝える・理解することの難しさを知るとともに、人によって表現や受け止め方が違うことを学びました。身体を動かしてジェスチャーすることがアイスブレイクになり、一気に教室内の雰囲気緩和されました。

『文化とは？異文化とは？』

このトレーニングでは、文化・異文化の概要を学び、海外派遣事業や留学の事前準備として何をしておけばよいかを考えました。

「異文化とは全く自分たちの文化とは違って理解しにくいものなのかな…と思っていたけど、同じ人間なので根元は変わりないんだと思った。」

「就職活動となぞらえているのが、新鮮で面白かった。」
(参加者のフィードバックより)



異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

『これが私です！～自己&達成目標 紹介～』



言葉だけの自己紹介ではなく、写真やイラストなどを使用した自己PRを作成し、発表しました。初対面の人とのコミュニケーションに苦手意識を持たないように、事前に自己紹介について考え、準備しておくことは大切です。また、自己理解の機会にもなると考えます。



写真や地図を持ってきた人、イラストを書いてきた人、自分の趣味について熱く語る人、皆それぞれ自己紹介を工夫していました。聴いている人もメモをとったり、質問をしたりと、相手を知るいい機会になりました。

「普段自分を紹介するという機会がなく、『学校で黒板の前に立って棒読み』というイメージがあったのですが、皆の紹介を聞いたり、自分の紹介を聞いてもらうのも普通の会話みたいで楽しいなあと思いました。話している人が熱を入れて話すと聞いている人も食いつく感じはよく分かりました。(笑)」
(参加者のフィードバックより)



海外に行くときは、視覚的に自己紹介できるものを準備しておく便利です。



異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

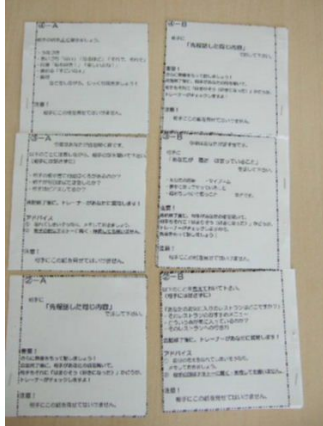
『会話力 ～傾聴法～』



傾聴のアクティビティーを通し、聞き手の態度が会話に影響を与えていること、また相槌や質問が会話の促進剤になることを学びました。

①アクティビティー

2人組みになり、トレーナーから配布された指示カードの通りに会話をする。時間になったら、相手をチェンジして、また新たな指示カードをもらい、会話をする。



「色々な人の話をきけておもしろかった！！」
(参加者のフィードバックより)

②全体でのふりかえり

アクティビティーの後は、その体験を通しての感想や学んだことなどを話し合い、全体でのふりかえりをします。



異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。



「相手が聞くそぶりをしたり、あいづちを打つてくれるととても話しやすかった。上の空で聞かれたり、何も質問してこないと、自分だけが喋ることになって、ちょっと相手の印象が悪くなった。」

(参加者のフィードバックより)

皆アクティビティーでの興奮が覚めやらぬ様子。会話の楽しさを理解してもらえたと思います。



「自分が普段行わないコミュニケーションの仕方をプログラムの中でやらせていただき、その面白さが分かったり、聞いてくれる人のありがたさが分かったりした。」

(参加者のフィードバックより)

「コミュニケーションでは言葉だけでなく表情やあいづちや質問の仕方も大切なんだなあと考えた。」

「相手の話を聞くときは、聞いているというアピールが必要だと思った。」

(参加者のフィードバックより)



異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

③トレーナーによるテーマ解説



アクティビティーの趣旨やトレーニングのテーマについて、トレーナーが解説し、参考資料を配布しました。

会話を花を咲かせるためには、上手な聴き方も大切です。



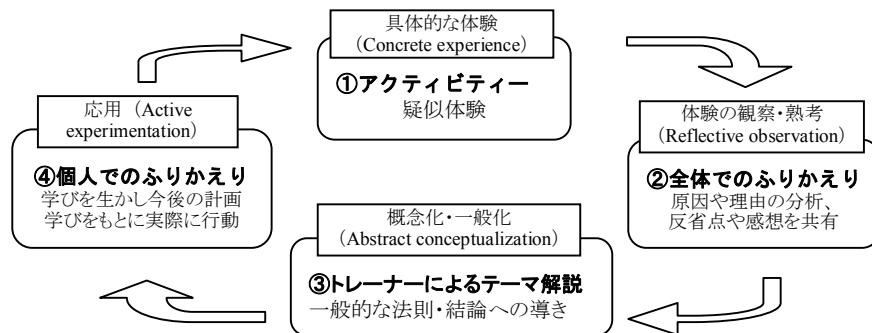
④個人でのふりかえり

他の参加者の意見やトレーナーの解説を聞いた後、各自でふりかえりをし、感想・学んだこと・今後の計画などをシートに記入します。

「相手の話を聞き出し、コミュニケーションをはかる為に、聞く力を身につけよう」
(参加者のフィードバックより)



異文化トレーニングの流れ

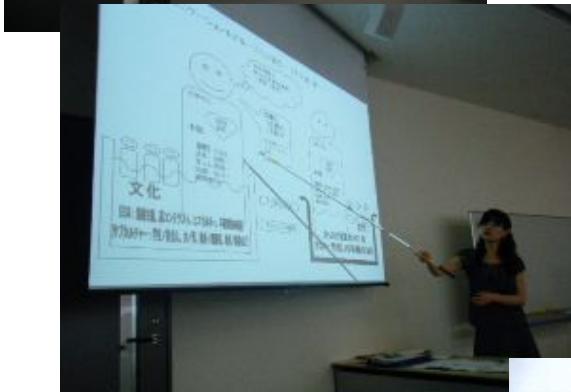
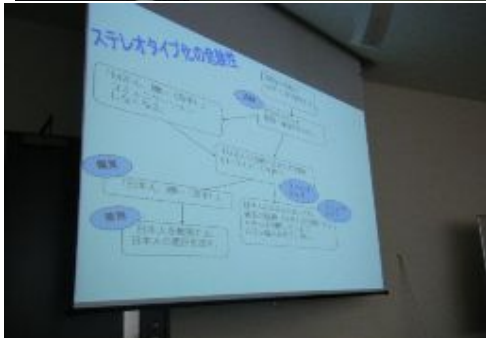


異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

『ステレオタイプ 文化と個性』



まず、ステレオタイプのメカニズム・文化の影響力・個性について考えた後、ステレオタイプの危険性について学びました。異なる文化を持つ相手の言動に対し、即断せず、多様な原因要素・背景を考慮し、コミュニケーションをとりつづけることの大切さを学びました。



「一つの視点からしか物事を見れない事は損である」「自分の価値観を時には一端置いておいて、相手を理解しようとする事が重要である」(参加者のフィードバックより)

3人で1グループになって、ミス・コミュニケーションへの具体的な解決策を考えました。



異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

『日本人・日本文化 ～ここが変／嫌だよ日本人～』



このトレーニングでは、外国人が日本人の言動で理解できない点・嫌な点を指摘したものをケーススタディとして、その言動の背景や日本文化について考察し討議を行いました。

日本文化や自己の思考・言動を意識して省察する力を育成することにより、相手の心情や文化背景に対して推察、及び共感する能力を養うことができると考えます。



「過去の経験や、文献での画一的な内容だけで、その国の人のことを知ったような気になってきましたが、それは誤解が生じるきっかけになってしまうのだと思いました。」(参加者のフィードバックより)

『派遣国の文化 ～それって、変/失礼じゃない?〇〇人～』

ケーススタディを用いて派遣国でのトラブルを疑似体験しました。一見「変・失礼」だと思われる派遣国の人々の言動を通し、派遣国の文化や人々について考察し討議を行いました。自文化や自己の物差しで計り即断するのではなく、相手の言動には自分の予想とは違う意図・文化背景があるかも知れないと考えること、相手文化への関心と理解を持つことがトレーニングでの目標です。



トレーニングでは、楽しくのびのびと話し合い、異文化コミュニケーションの面白さを体験できました。

異文化トレーニング、及び参加者のフィードバックの詳細は、http://www.geocities.jp/intercultural_trainer/ 参照下さい。

異文化トレーニング参加者の声

異文化トレーニングは面白い！
コミュニケーションを体験型で学ぶと
実感が伴うので、知識というより発見だった。

Sさん(海外派遣事業参加者)

韓国に出発する前に良い心の準備になった。韓国
に行って、新しい文化に触れるのが楽しみだ！！

Rさん(海外派遣事業参加者)

外国人との交流に慣れていないので、
これから積極的に行動して、いろいろ
な事を学びたいと思うようになった。

Kさん(海外派遣事業参加者)

私が留学に行く前に、このトレーニングを
受けられたら本当に良かったのに…と思った。

Oさん(留学経験者)

このトレーニングは、外国の方と接する機会
がある人にとって必要なものだ。
異文化コミュニケーションの経験がある人
にとっても新たな「気づき」があり、異文化
コミュニケーションをより充実させること
ができる。
異文化コミュニケーションの楽しさを知る
きっかけにもなる。

Aさん(海外派遣事業参加者)

形式ばって何かを学ぶのではなく、
ワークを通して理解していくので、
実感として学ぶことができ、よかつ
たです。また、異文化トレーニングに
参加したいです(*^_^*)

このトレーニングは参加者にプレッ
シャーを与えることなく、楽しく色々
なことが学べるのでとても良い経験
になりました。

ありがとうございました m(_)_m

Tさん(海外派遣事業参加者)

留学先でいろんな異文化にふれる中で、
実際にこのトレーニングで体験したことを
実行したり、考えていこうと思う。

Mさん(留学予定者)

まずは日本についてもっと深く知って、
もっと外国に日本のすばらしさを伝えに
いきたいと思ってます。

Oさん(留学予定者)

正美さんと Cathy の展開を考える
Activity は、とても実践的で良かった
と感じました。「自分ならどうするか」
を具体的に考え、且つ人のものとも比
べられたので…

Iさん(留学予定者)

今日のトレーニングで気づきがたくさん
ありました。
今日学んだことを、外国人とのコミュニ
ケーションはもちろん、日本人とのコミュニ
ケーションにおいても、実践していこうと
思います。ありがとうございました。

Aさん(海外派遣事業参加者)

大久保正美の修士課題研究『海外派遣型国際
交流事業』参加者への異文化トレーニングの
開発』報告書より抜粋。